

# 『心に残る文化財子ども塾』学習指導案

日 時：令和2年6月25日（木）

① 1・2組 11：00～12：00

② 3・4・5組 14：20～15：20

場 所：田和山遺跡

対象者：松江市立乃木小学校6年生 176名

指導者：乃木小学校教員 8名

島根県埋蔵文化財調査センター3名

## 1. 主題（主題名）

田和山遺跡から弥生文化を学ぶ

## 2. ねらい

- ・地域を素材とした歴史学習を通し、歴史・文化財に対する興味・関心を高める。
- ・国史跡田和山遺跡の現地を踏査し、遺跡の特徴について体験的、専門的に学び理解を深める。

## 3. 展開

学習活動	○指導者の支援及び留意点 ☆評価
1. 本時のねらいを確認する。	○説明者の自己紹介や見学手順をわかりやすく説明する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">田和山遺跡を探検し、弥生文化について知ろう。</div>	
○見学内容の全体説明を聞き、本時の概要を知る。	○見学の内容を理解することができるように、パンフレットやワークシートを事前に配布しておく。
2. 復元住居内や山頂部など遺跡の特徴を知る。 ○ワークシートを用い、答え合わせをしながら各環濠を回る。 ・田和山遺跡と周辺の遺跡 ・田和山遺跡と弥生時代 ・田和山遺跡から見つかったもの ○ポイントごとに解説を聞く。	○列の後ろにつき、危険がないかなど児童の様子に注意する。 ○事前に学習していたことと結びつくように声かけをする。 ○水分補給を行うように適宜声をかける。
3. 感想を発表し、本時の活動を振り返る。 ・田和山遺跡が弥生時代のものだということを知り、自分の地域の歴史のことをもっと調べたいと思いました。 ・学習したことを実際に見ることができ、当時の人のくらしをより具体的にイメージすることができました。	

## 4. 準備物等

- ・筆記用具、たんけんバック、ワークシート、パンフレット、水筒、タオル（児童が持つもの）
- ・拡声器、カメラ（教員が持つもの）